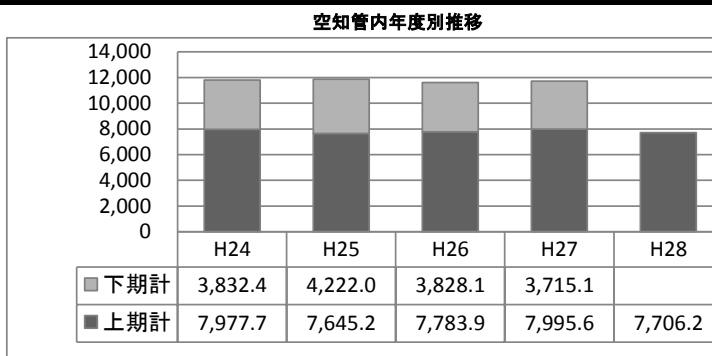


平成28年度(上期)空知総合振興局管内における観光入込客数調査結果の概要

平成28年12月26日
空知総合振興局商工労働観光課
※調査対象期間は、H28. 4月～9月です。

1. 平成28年度上期管内観光入込客数

平成28年度上期の管内観光入込客数は、7,706,200人となり、前年同期の7,995,600人から、289,400人(3.6%)減少した。



(単位:千人)

項目	H24	H25	H26	H27	H27上期	H28上期	対前年同期増減	構成比
入込客数	11,810.2	11,867.2	11,612.0	11,710.7	7,995.6	7,706.2	▲ 289.4	-
うち道外客	888.7	896.4	816.3	822.4	566.9	512.8	▲ 54.1	6.7%
うち道内客	10,921.5	10,970.8	10,795.7	10,888.3	7,428.7	7,193.4	▲ 235.3	93.3%
うち日帰り客	11,317.9	11,364.0	11,136.3	11,216.8	7,684.3	7,394.8	▲ 289.5	96.0%
うち宿泊客	492.3	503.2	475.7	493.9	311.3	311.4	0.1	4.0%
全道シェア	9.26%	9.00%	8.70%	8.32%	8.82%			
全道入込客数	127,502.6	131,788.0	133,406.4	140,821.2	90,628.2	-	-	

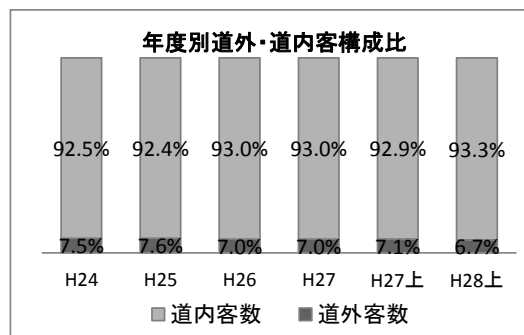
※H28上期全道分は集計中

(1) 道外・道内客数別

道外客数は、512,800人で、前年同期と比べて、54,100人(9.5%)減少した。

道内客数は7,193,400人で前年同期と比べて、235,300人(3.2%)減少した。

構成比で見ると、道外客数は6.7%、道内客数は93.3%となっており、道内客が主体となっている。

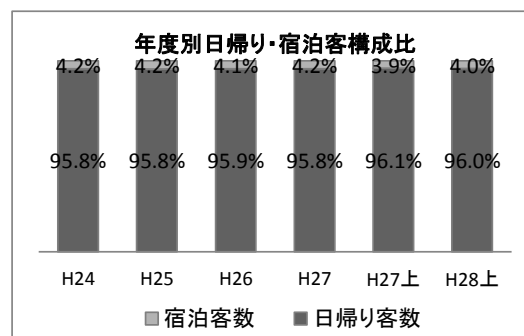


(2) 日帰り・宿泊客数別

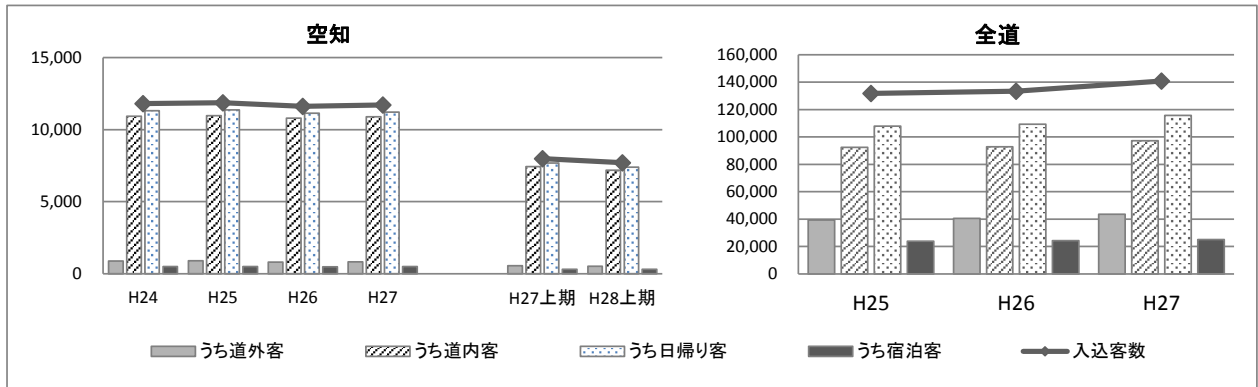
日帰り客数は、7,394,800人で前年同期と比べて、289,500人(4.0%)減少した。

宿泊客数は、311,400人で、前年同期と比べて、数値はほぼ変わらなかった。

構成比で見ると、日帰り客数は96.0%、宿泊客数は4.0%となっており、日帰り客が主体となっている。



2. まとめ



- 管内の観光入込客数は、28年度上期は前年同期と比べると3.6%減少している。
- 観光入込客数が減少した要因として、5、6月の天候不良、8月の台風の影響などによる屋外イベントや観光施設への入込の減少が考えられる。
- また、その他の減少要因として石炭博物館(夕張市)などの施設の改修・閉鎖が挙げられる。

3. 参考

観光入込客数上位3市町

	市町名	入込客数(千人)	増減率 (対前年同期)	主な増減理由
1	岩見沢市	896.6	90.6%	天候の影響を受けやすい屋外観光施設や集客力のあるイベントが、今年 は天候に恵まれないことが多く、前年度比で軒並みダウンしたことが、大き な減少要因と考えられる。
2	砂川市	754.0	91.8%	砂川ISAスマートインターが現状増加要因として機能しておらず、天候や 気温にも恵まれなかったため、前年同期より大幅減となった。
3	三笠市	685.9	102.1%	温泉施設、道の駅利用者は増加した一方、土日の天候の悪さが響き、屋 外の観光施設の入込客数は減少傾向にあり、全体としては昨年同期より 若干増加した。